

## 한통련 뉴스레터

제69호

発行:在日韓国民主統一連合(韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284  
メール [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org) ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方は[chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org)までご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

## 정세 情勢

●海上演習に続いて韓米日合同空中訓練…朝鮮半島の戦争の危機を煽る「実質的な3カ国軍事同盟の構築」に断固反対する！



初めて実施された韓米日合同空中訓練

## 韓米日合同空中訓練、初めて実施

韓国と米国、日本が10月22日、朝鮮半島付近の上空で初めて合同空中訓練を実施した。

この日の訓練は米戦略爆撃機B52Hを米軍のF16戦闘機、韓国軍のF15K戦闘機、航空自衛隊のF2戦闘機が護衛し編隊飛行する方式で行われた。

韓国空軍によれば訓練の実施場所は朝鮮半島南方の上空で、韓日両国の防空識別圏(ADIZ)が重なる空域が選ばれた。

韓国と米国、米国と日本はそれぞれ朝鮮半島や朝鮮半島付近の上空で合同訓練を数多く行ってきたが、韓米日3カ国が合同空中訓練を実施したことはなかった。尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権は、文在寅(ムン・ジェイン)前政権が事実上中止した韓米日の合同海上訓練を再開したのに続き、合同空中訓練の実施にも踏み切った。

今回の合同訓練は核兵器の搭載が可能なB52Hが朝鮮半島に展開されたことを機

に実施された。同機は17日に京畿道・城南のソウル空港(軍用空港)で開幕した韓国最大の航空宇宙・防衛産業展示会「ソウルADEX2023」の開会式で祝賀飛行を行った後、韓国空軍と共に合同訓練を実施し、中部・清州の空軍基地に着陸した。B52Hはこれまでも朝鮮半島に飛来し、韓国軍と何度も合同訓練を実施しているが、韓国の空軍基地に着陸するのは初めてだった。在韓米軍は19日、同基地に着陸したB52Hをメディアに公開している。

B52Hの韓国基地への初着陸は、韓米国防当局が北朝鮮(※正しくは朝鮮)の核に対する拡大抑止の実行力強化の一環として、米国の戦略資産を常時配備に準ずる高い頻度で運用するとの合意に基づいて実施された。また韓米日による朝鮮半島付近の上空での初の合同空中訓練は、8月に3カ国首脳が米大統領山荘キャンプデービッドで開いた会談での合意に基づく。3首脳は合同訓練を含む3カ国の安保協力を強化することで一致している。

## 朝鮮、米戦略爆撃機の飛来に反発・警告

朝鮮中央通信は20日、核兵器搭載が可能なB52Hが韓国に初めて着陸したことなどについて、「米国は朝鮮半島が法的に戦争状態にあり、敵側の地域に入る戦略資産が最初の消滅対象になることを知らないはずがない」と警告し、「米国と『大韓民国』がわが共和国に核戦争挑発をしてき

た以上、われわれの選択もそれに相応する」と主張した。

## 「実質的な韓米日軍事同盟の構築」に断固反対

韓米日の合同海上演習はすでに何回も実施されているが（※前号の関連記事参照）、加えて米戦略爆撃機が参加する韓米日の合同空中訓練まで行われるに至り、朝鮮半島では朝鮮の強い反発を招きながら、いたずらに軍事緊張を高めている。

## ●存在理由ない「国民の力」革新委、尹大統領の変わらぬ独善・専横…「11・11総決起」成功させよう！



第一野党「共に民主党」の最高委員会議で発言する李在明代表

### 尹大統領「国民は常に正しい」発言

尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領は10月18日、側近らとの会議で「国民は常に無条件で正しい」とした上で、「いかなる批判や言い訳もしてはならない」と述べた。「龍山（の大統領室）秘書室長から首席秘書官、秘書官、行政官まで、参謀全員が机にだけかじりつくのではなく、国民生活の現場に入り込んで生の声を直接聞くように」と指示し、「わたしから先に困っている国民の生活の現場に入り込む」と約束した。大統領室の金恩慧（キム・ウネ）広報首席秘書官が伝えた。

大統領室高官は、「国民は常に無条件で正しい」という尹大統領の発言が、11日に実施されたソウル市江西区長補欠選挙で与党「国民の力」候補が第一野党「共に民主党」候補に大敗したことと関連があるかについて、「政治において『民心は天意であり、国民は王だ』と常に心に刻み、敬う地点がある。ここから大きく外れていない

海上、空中と進めば残るは地上での合同軍事演習。昨年2月の第2回大統領選挙候補者テレビ討論会で、正義党のシム・サンジョン候補の韓米日同盟に関連した質問に対し、尹錫悦候補が有事に日本の自衛隊が朝鮮半島に進入する可能性を示唆する発言をしたことを想起せざるを得ない。

「韓米日軍事協力の強化」からなし崩し的に進展する「実質的な韓米日軍事同盟の構築」に断固反対する。

と考えてもらえれば」と答えた。

### 「国民の力」革新委が発足

国民の力の金起炫（キム・ギヒョン）代表は27日、江西区長選の結果を受け、来年4月の総選挙を見据えて党の刷新を図るために、革新委員会を発足させた。革新委は印曜翰（イン・ヨハン）延世大医学部教授を委員長に、計13人で構成された。活動期間は12月24日までの60日間。

革新委は11月2日、党内の結束に向けた「赦免」措置を打ち出した。李俊錫（イ・ジュンソク）前代表と洪準杓（ホン・ジュンピョ）大邱市長に対する党員資格停止処分を取り消し、両氏は党員資格を回復した。3日には、党の執行部や重鎮、尹大統領に近い議員に対し、総選挙に出馬しないか激戦地の首都圏から立候補するよう求めた。

### 李在明代表、内閣総辞職を要求

共に民主党の李在明（イジェミョン）代表が10月23日、党務に復帰。李氏は同日に開かれた党最高委員会議で、「残念ながら政府と与党の無能と無責任により国民生活、国の経済と安全保障が脅かされている」と指摘。「尹大統領は国政基調を全面的に刷新しなければならない」として、「無能と暴力の象徴になってしまった内閣を総辞職させるべきだ」と強調した。また、「政権の暴圧で韓国のシステムが崩壊

し、過去に逆行することを防ぐためには、必ず総選挙で政権の誤りを厳しく問う審判が下されるべきだ」と述べた。

同党のクォン・チルスン首席報道担当は11月4日、国会でブリーフィングを通じ「国民の力が印暻翰革新委を発足させた背景は、国民が尹大統領の独善的な国政運営を厳しく審判したため」であり、「革新委は大統領に国政基調の転換を要求し、垂直的な政府と与党の関係を解消することが革新の本質的な目標であるべきなのに、印委員長は大統領と党代表の仕事に関与することは適切ではないとするなど、民意の要求に知らないふりをしている」と批判した。

### 両党、総選挙態勢確立へ

6日、国民の力は総選挙の対策などを総括する「企画団」を発足させた。共に民主党も総選挙の対策を担う「総選挙企画団」が国会で初会合し、総選挙の計画作りに着手した。他の野党も含めて、総選挙に向けた態勢の確立を本格化させている。

### 革新委、革新不可能…「大統領が王」…「11・11総決起」成功させよう！

江西区長補欠選挙の大敗を受けて国民の力は、党の態勢を立て直し、来年の総選挙に備えようと革新委員会を発足させた。だが党内から委員長を出すことができず、よ

うやく決定した人物も「健康保険は社会主義」と発言するなどの新自由主義的思考の医大教授。委員構成も親尹系が多数を占め非尹系は含まれなかった。革新委が革新すべき核心は「尹大統領による与党の私物化」。大統領に進言・直言できない革新委では存在理由がなく、革新は不可能と自覚すべきだ。

尹大統領は「国民は常に無条件で正しい」とし、「現場に出て国民の生の声を聞かなければならない」と強調した。さらに大統領室高官は「民心は天意であり、国民は王だ」と言及した。尹大統領は梨泰院惨事1周年の追悼大会には理由にならない理由をつけて出席せず、一方で朴正熙（パク・チョンヒ）元大統領の追悼式には総選挙における保守票の結集を意識して参加した。尹大統領にとっては、遺家族をはじめ追悼大会に集まった参加者は「国民」ではなく、そして「国民は王」ではなく「大統領が王」なのだろう。「尹大統領＝王」の独善と専横の姿勢には何ら変化はない。

11月11日にソウルで「尹錫悦政権退陣総決起 退陣の広場を開こう！」が20万人規模で開催される。進歩民衆陣営の総結集で総決起を大成功させ、尹政権退陣の大きなうねりをつくり出さなければならない。

## ●【記事紹介】退陣運動本部、20万人「11・11尹錫悦政権退陣総決起」ソウル都心で開催



ソウル市内で記者会見する退陣運動本部のメンバーたち

「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権退陣運動本部」などが10月18日、記者会見

を通じて、11月11日にソウル都心で「尹錫悦政権退陣総決起 退陣の広場を開こう！」を20万人規模で開催すると発表した。統一ニュースの記事（10月18日）を紹介する（※一部省略）。

11月11日、ソウル都心で20万人参加の尹錫悦政権退陣総決起  
尹錫悦政権退陣運動本部など記者会見…「退陣の信号弾をつくり出す」

尹錫悦政権出帆1年6カ月に際し、進歩民衆運動勢力が政権退陣のための総決起闘争を宣布し本格的な退陣運動に突入する。



「退陣の広場を開こう!」と書かれた大型横断幕を広げ  
アピールする退陣運動本部のメンバーたち

尹錫悦政権退陣運動本部準備委員会と全国民衆行動、全国非常時局会議推進委員会など全国規模の進歩民衆連帯団体が10月18日午前、ソウル光化門世宗文化会館前で記者会見を開き、11月11日午後ソウル都心で、「退陣の広場を開こう」というテーマで「尹錫悦政権退陣総決起大会」を開くと発表した。

主催団体は、各団体に網羅されている労働者、農民、貧民、市民の意志を集めて各部門大会を開催した後、各界各層が総力結集して「退陣総決起大会」を開き、必ず「退陣の広場」にするとの覚悟を明らかにした。

これに先立ち10月20日から11月10日まで、「尹錫悦政権退陣大行進団」が済州から出発してソウルまで全国を巡回し退陣総決起を訴える計画だ。

最大20万人が集結する退陣総決起大会に先立ち、主催者側は12大主張を発表した。

△日本放射能汚染水海洋投棄許容 尹錫悦政権は退陣しろ!

△労働者、農民、貧民、民衆すべてを殺す尹錫悦政権を終えよう!

△農業破壊・農民抹殺 尹錫悦政権は退陣しろ!

△民生破綻・財閥政権 尹錫悦政権は退陣しろ!

△物価暴騰・庶民と中小商人すべて死ぬ尹錫悦政権は退陣しろ!

△言論掌握・集示法改悪 尹錫悦政権は退陣しろ!

△検察独裁・民主破壊 尹錫悦政権は退陣しろ!

△戦争危機・平和破壊 尹錫悦政権は退陣しろ!

△強制動員屈辱解決・自衛隊朝鮮半島進出尹錫悦政権は退陣しろ!

△米日の利益ために主権を放り出した尹錫悦政権は退陣しろ!

△女性家族部廃止強行 尹錫悦政権は退陣しろ!

△性少数者の人権破綻 尹錫悦政権は退陣しろ!

6月27日、労働者、農民、貧民が主軸になり自営業者、女性、青年、大学生などが結合して出帆した尹錫悦政権退陣運動本部(準)はこの間、「生きられない! かせよう! 尹錫悦政権退陣汎国民大会」を3回(7月15日、8月12日、9月16日)開催し、親日売国、反民主、反労働、反平和の暴圧政治に怒った民意を十分に確認することができたとしながら、「尹錫悦政権下で生きること自体が地獄と変わらない」と退陣総決起に取り組む立場を明らかにした。

退陣運動本部は(準)は、5月1日の建設労組ヤン・ヘドン烈士の焼身抗議以後、烈士の遺言を必ず実現するとの共通の決意に基づき、6月27日に民主労総と全国農民会総連盟、全国女性農民会総連合、貧民解放実践連帯などの団体を中心に発足した。

1月19日に100余人の元老らの提案で始まった「検察独裁・民生破綻・戦争の危機を防ぐための非常時局会議」は5月4日、全国非常時局会議(推)の名称で公式に発足した。

全国民衆行動は2015年、朴槿恵(パク・クネ)政権退陣のための民衆総決起を成功させるために構成された「民衆総決起闘争本部」を継承し、2022年1月15日に進歩民衆陣営の常設的連帯闘争体として発足した。

原文 <https://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=209203>

## ●【記事紹介】梨泰院惨事1周年…遺家族らは市民追悼大会開催、尹大統領は参加せず教会で追悼礼拝？



遺家族を代表しあいさつするイ・ジョンミン運営委員長

梨泰院惨事の1周年を迎え、遺家族協議会と市民対策会議はソウル広場で市民追悼大会を開催し、多くの参加者は犠牲者を追悼するとともに特別法の制定を訴えた。尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領は主催者側の参加要請にも口実をつけて参加せず、大統領室は教会で追悼礼拝を捧げたと弁明に終始した。統一ニュースの記事（10月29日）を紹介する。（※一部省略）

### 梨泰院惨事遺家族、「特別法が最も重要な課題」 「1周年追悼大会」無視した尹大統領、「安全な大韓民国」強調

「10・29梨泰院惨事を記憶してください」

29日午後5時、ソウル市庁前広場。

「10・29梨泰院惨事1周年市民追悼大会」演壇に立った「10・29梨泰院惨事遺家族協議会」イ・ジョンミン運営委員長が参加者と国民に向けてこのように訴えた。「その記憶が少しずつ集まり大きくなるならば、二度と大韓民国にこのような惨事は発生せず、これ以上の遺家族は生まれないだろう」と述べた。

特に「わたしたちのなくした子供たちを追悼するこの時間は、決して政治集会ではない」「惨事以後、わたしたち遺家族はいままでただの一度も政治的行動をしたことがない。単にわたしたちはわたしたちのくやしさを訴えただけ」と声を強めた。

遺家族の「追悼大会参加」要請に対し、「政治集会」という言い訳をしてついに参加しなかった尹錫悦大統領にむけたものだ。

イ・ジョンミン運営委員長は「いまやわたしたちには特別法だけが最も重要な課題」と強調した。「梨泰院惨事の原因と再発防止を論ずることができる最も重要な法」であり、「国民が惨事に対するトラウマに打ち勝つことができる法」だということ。

そして「惨事を前にして、与野党いずれも国民の声に耳を傾けなければならないとき」「正しい姿勢で特別法通過に力を加えてください」と訴えた。

この日、「追悼大会」に参加した4野党（「共に民主党」、正義党、進歩党、基本所得党）代表は、「梨泰院惨事真相究明特別法（以下、特別法）」処理を約束した。特に、共に民主党の李在明代表は「わたしができる最善の努力を尽くす」と念を押した。

一方、「個人資格」で参加したイン・ヨハン革新委員長、キム・ビョンミン最高委員、クォン・ヨンセ議員を始めとした与党「国民の力」関係者は、これといった立場を明らかにしなかった。一部行事が終わると退場し、一部の市民から強い「抗議」を受けたりした。

30日午後4時、国会次元で「追悼行事」が開かれる予定。

「10・29梨泰院惨事市民対策会議」のカン・セボム（進歩大学生ネット）、パク・ソグン（全国民衆行動）、イ・ジヒョン（参与連帯）、イ・テイ（民主労総）、チョ・ヨンソン（民主社会のための弁護士の集い）氏が、五つの「記憶・追悼・真実に向けた誓い」を明らかにした。

1. 梨泰院惨事が発生するようになったわたしたちの社会の構造的問題と惨事発生の根本的原因を探して、真実を明らかにし、責任を問うことを放棄しない

1. 犠牲者に対する嫌悪と差別の言葉が消

える日まで、遺家族に寄り添い犠牲者の名誉回復のための歩みを止めない

1. 特別法が制定され独立的調査機構が設置される日まで、国会と政府を見守ることをおろそかにしない

1. 生命と安全を守ることができる法と制度をつくり、きちんとした再発防止対策がつけられるまで連帯と支持の手をはなさない

1. この地に生きこの地にとどまりこの地を通る誰もが、安全で平等に歩き回り生きることができる社会が建設されるまで、責任を持ち続ける

二部行事は追悼公演形式で進行された。

午後1時59分にはソウル梨泰院駅1番出口付近で、「4 大宗教団体祈祷会」が開かれた。惨事の現場であるハミルトンホテル路地には、遺家族と地域住民が衆知を集めて「記憶と安全の道」を造成した。

一方、イ・ドフン大統領室スポークスマンは「尹錫悦大統領は今日昼にソウル城北区の霊岩教会で梨泰院惨事1周忌追悼礼拝

を捧げた」と述べた。尹大統領が小学校1年生から中学校1年生まで通ったという教会。

「追悼辞」を通じて、尹大統領は「昨年の今日は、わたしが生きていの中で最も大きい悲しみの日」「大韓民国の国民すべてがわたしと同じような気持ちだろう」と語り、「『安全な大韓民国』という目標のために、今後もさらに努力する」と付け加えた。

「遺族が重ねて追慕大会へ参加要請したのに尹大統領が参加しなかった理由が何か」との質問について、大統領室関係者は「梨泰院事故現場であれ、ソウル広場であれ、そこではなく城北区の教会でも犠牲者を追悼し哀悼する気持ちには異なるところはないと考える」と質問への直接の答えを避けた。

原文 <https://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=209301>

## 활동보고 活動報告

### ●「沖縄を再び戦さ場にするな!—沖縄・南西諸島からの訴え」開催…日本の軍国化に反対の声



シンポジウムで発言する明記者

〈「新しい戦前にさせない」連続シンポジウム 共同テーブル10.17 第7回シンポジウム「沖縄を再び戦さ場にするな!—沖縄・南西諸島からの訴え」〉が都内で開催され

た。

共同テーブル発起人の評論家・佐高信氏の主催者あいさつ後、「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」の山城博治事務局長が沖縄の現状について報告。昨年閣議決定した安保3文書について「沖縄、南西諸島が中国と戦争するためのシナリオだ。現在、沖縄のすべての空港、港などのインフラを軍事利用するため準備が着々と進んでいる」と批判。「沖縄の戦場化を止めるためには全県民が団結することが必要だ。ともに声を上げていこう」と訴えた。また、下地茜・宮古島市議会議員が宮古島にミサイル訓練場が建設されようとしている現状と、その危険性について報告した。

シンポジウムでは山城事務局長、下地議員、琉球新報東京支社の明真南斗記者、新

社会党の岡崎宏美委員長が登壇し、沖縄の現状と今後の課題について論議した。

「沖縄の風」の高良鉄美参議院議員が連帯あいさつ。沖縄県の玉城デニー知事はビデオメッセージで今後の反基地運動への決意を語った。杉浦ひとみ弁護士が閉会あいさつ。「沖縄だけでなく、本土にも戦争の問題がやってくる。一緒に繋がり、平和に向けてがんばっていきましょう」と語った。

10月21日には「沖縄・一坪反戦地主

会関東ブロック」などが「東アジアに平和を！琉球弧の島々を戦場にするな！新宿アクション」を開催。200名が参加し、新宿駅前で集会後、周辺をデモ行進し、沖縄の戦場化に反対する声を上げた。11月23日には沖縄で「全国連帯 11.23県民平和大会」が開催される。国会正門前でも同時行動として「11.23国会正門前アクション 沖縄も日本も戦場にさせるな！」が開催される。

## ● 韓統連三重本部が松代大本営跡地でフィールドワークを開催



大本営跡地で解説を受ける参加者たち

韓統連三重本部は10月21、22日に松代大本営（長野県長野市）のフィールドワークを行った。韓統連三重本部、愛知本部、韓青三重県本部のメンバーに加え、フリージャーナリストの中村一成さんが参加した。

三重県桑名市に集合し、自動車で長野市松代町にある象山地下壕へ移動。「NPO法人 松代大本営平和祈念館」のスタッフのガイドで見学。地下壕約500メートル

を往復した。地下壕は78年前の姿をそのまま残しており、本工事の従事者であり生存者だった崔小岩(チェ・ソアム)さんの証言を通じて、当時の朝鮮人の生々しい様子を参加者全員が共有した。

宿舎で感想会兼討論会を行い、歴史問題から時事問題まで幅広いテーマで討論した。

22日は3つの建造物（天皇御座所）を見学。沖縄戦で時間を稼ぎ本土決戦を行うために建造され、天皇・皇后・宮内省と「三種の神器」を移すための場所として作られたが、現在でも当時のままの部分があり、参加者は戦争当時の同胞の苦難の状況に思いをはせた。

その後、長野市内で温泉・昼食などの小観光を経て、桑名へ戻り解散。韓統連三重本部の金相祚（キム・サンジョ）代表委員は「フィールドワークを通じて在日朝鮮人の歴史を肌で学び、正しく後世に伝えられる自分をつくるのが大切だ。今後も積極的に企画していきたい」と語った。

## ● 横須賀で第38回ピース・フェスティバルが開催される



ピース・フェスティバルの様子

神奈川県横須賀市内の三笠公園で10月22日、第38回ピース・フェスティバル

が開催された。主催は「非核市民宣言運動・ヨコスカ／ヨコスカ平和船団」などで構成する同実行委員会。神奈川県、横須賀市、三浦半島地区労働組合センターが後援、全造船関東地協労働組合などが協賛した。

コロナ禍で開催中止が続いていた同ピースフェスティバルは4年ぶりに開催。今年は横須賀に米空母が配備されて50年となり、今回はこの問題に焦点を当て、空母5

0年目のリレートーク、特別展示「空母の横須賀母港50年」、立体模型でよくわかる総点検「ヨコスカ基地」などの特別企画が実施され、横須賀空母50年を参加者と共にまさに総点検するものとなった。

また、チャーター船を利用し海から米軍基地・自衛隊基地の実態を見る「軍港クルーズ」も同時に実施。米第7艦隊旗艦ブ

ルーリッジや海上自衛隊の潜水艦などが停泊・航行中の基地の姿はまさに米日海軍基地の一体化を示していた。

参加者は特設ステージの歌や演奏に手拍子を送り、飲食・物販コーナーではおでんや焼きサザエなど多彩な飲食と物販を楽しんだ。

## ● 都内で汚染水海洋投棄抗議行動・・・李俊一総務部長がアピール



アピールする李俊一総務部長

「さようなら原発1000万人アクション実行委員会（実行委員会）」は10月24日、首相官邸前で「10・24放射能汚染水を止める！ 官邸前抗議行動」を開催した。

実行委員会の井上年弘事務局長が主催者あいさつ。「汚染水は放流されてしまったが、それで運動が終わるわけではない。海は放射能の投棄場所ではない。これからも継続して抗議活動を続け、一刻も早い放流

中止を要求していこう」と語った。

反原発団体や市民団体などがアピールする中、韓統連の李俊一（イ・チュニル）総務部長がアピール。「韓国の尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は、国民の8割近くが『反対・心配』の声を上げている中、汚染水海洋投棄を黙認した。尹政権は対米従属、対日屈辱外交を続けており、この政権が続く限り同じ過ちが何度でも繰り返される。現在、韓国では尹政権退陣運動が高まっており、11月11日には進歩民衆陣営が中心となって『尹錫悦政権退陣 国民総決起』を開催する。韓統連はこれを支持し、退陣運動を推進していくことにより、汚染水問題解決に寄与していきたい」と語った。

参加者全体でシュプレヒコール。「放射能汚染水放出をやめろ」「これ以上海を汚すな」「政府、東電は約束を守れ」と訴えた。

## ● 10・27東京総行動が日本製鉄本社前からスタート



アピールする宋世一委員長

自立した争議団・争議組合が社会的課題も含めて争議の解決のために連帯して闘う、一日行動として取り組まれている「東京総

行動」が10月27日に実施された。主催は「けんり総行動実行委員会」。

当日の行動は日本製鉄本社前からスタート。東京全労協の大森議長が主催者あいさつを通じて、「労働者にとっては厳しい環境だが、団結して闘い、労働者の生活と権利を守り抜くためにも争議の解決をかちとろう」と強調した。

「JAL（日本航空）不当解雇撤回争議団」のアピールに続いて、尾澤孝司氏が韓国ワイパー争議の解決と自身の裁判について報告した後、「日本製鉄元徴用工裁判を支援する会」からアピール。支援する会は、今年7月に来日した「国連のビジネスと人権作業部会」調査団に、レポート「戦

時中に行った朝鮮人強制動員・強制労働の被害者救済に関する責任をとらない日本企業について」を提出し、「ビジネスと人権に関する指導原則」に違反する会社に対して、国連という新たなステージでの強制動員被害者救済の闘いに踏み出したと報告した。

韓統連の宋世一(ソン・セイル)委員長は、韓国では尹錫悦政権に対する退陣要求の声が高まっているとし、11月11日に

はソウル都心で民主労総などが中心となり20万人規模の「退陣総決起」が開催されると紹介しながら、総決起への支持と韓日労働運動の連帯を訴えた。

宋委員長は30日、さいたま市浦和駅前でのJAL争議団月例宣伝活動に参加。JAL乗務員の不当解雇の撤回を要求するとともに、総決起への支持・連帯を同様に訴えた。

### ● 韓統連大阪本部が野遊会を開催…焼肉を食べながら楽しく交流



参加者で記念撮影

韓統連大阪本部は10月29日、秋季を迎え「韓統連大阪本部2023年野遊会」を大阪市の淀川河川公園太子橋地区BBQエリアで開催した。

金隆司(キム・ユンサ)代表委員が乾杯あいさつ。「今年、韓統連大阪本部は9月に統一マダン生野を開催するなど様々な行事を行ってきた。今日は久しぶりの野遊会なので、美味しい焼肉を食べながら、楽しい一時を過ごそう」と語った。コロナ禍により4年ぶりの開催となったが、当日は天候に恵まれ、久しぶりに韓統連の行事に参加した会員をはじめ、参加者は七輪を囲み、焼肉を楽しみながら親睦と交流を深めた。

参加者で記念撮影し、尹錫悦政権退陣・民衆総決起支持を訴えるプラカード・アピールを行った。

### ● 「11.11尹錫悦政権 退陣総決起支持 韓統連全国代表者会議」を開催



民衆総決起支持のプラカード・アピール

韓統連は11月3日、名古屋市内で「11.11尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権退陣総決起支持 韓統連全国代表者会議」

を開催した。

宋世一(ソン・セイル)委員長が主催者あいさつ。「私たちは今日、韓国で11月11日に行われる『尹錫悦政権 退陣総決起』に在日同胞として支持、連帯し総決起を成功させようという強い意志をもって集まった。尹政権はこの間、民生を破綻させ、民主主義を破壊し、対米従属・対日屈辱外交によって戦争危機を極限まで高めた。無能、無責任な尹政権に対して、韓国民衆の怒りはいまや頂点に達し、退陣要求が日毎に高まっている。私たちはこの間、日本全国でプラカード・アピールを展開し、民衆総決起に対して海外の地から連帯してきた。尹政権退陣の大きなうねりをつくりだしていこう」と語った。

会員団体、地方本部の有志から決意表明。在日韓国青年同盟（韓青）三重県本部の安博輝（アン・パッキ）委員長は尹政権に対して「今年に入って朝鮮半島では韓米日合同軍事演習が頻繁に、平然と行われ、わが民族全体が生命の危機に陥っている」と指摘。「尹政権の親日・売国行為は目に余るものがある。韓青は在日同胞青年として尹政権退陣運動の先頭に立ち、自主・民主・統一を勝ち取っていく」と語った。

韓統連三重本部の白康喜（ペク・カンヒ）事務次長は「尹錫悦大統領は光復節の記念演説で、日帝植民地支配に対する民族独立運動や軍事独裁政権に対する民主化運動の歴史を正しく理解せず、その名誉を傷つけた。尹政権が韓国国内で行っている公安弾圧は、軍事独裁政権時代の理念対決そのものであり、歴史に対する反動だ。私たち韓統連は、このような独裁政権が朽ち果て、地に落ちるまで闘い続ける。退陣総決起を全面的に支持し、勝利の日を確信しながら、今後も闘っていきたい」と強調した。

金隆司（キム・ユンサ）副委員長が決議文を朗読。△反民生・反民主・反平和の尹錫悦政権は退陣しろ！ △「11・11尹錫悦政権退陣総決起」を全面的に支持しよう！△わたしたちの力で自主・民主・統一を実現しよう！の3項目を決議し、全体の拍手で採択した。

趙基峰（チョ・キボン）副委員長が閉会あいさつ。「尹錫悦政権になって韓米合同軍事演習が切れ間なく行われており、さらに日本も平然と加わってきた。尹政権がこのまま続けば、朝鮮半島は核戦争の戦火に巻き込まれるだろう。尹政権を一日も早く打倒し平和な朝鮮半島をつくるために、私たち韓統連は民衆総決起に全面的に連帯していく。尹政権退陣闘争を韓国民衆とともに貫徹し、自主・民主・統一を実現しよう」と語った。

参加者全体で「尹錫悦政権は退陣せよ！」「民衆総決起を成功させよう！」とのメッセージを掲げプラカード・アピールを実践した。

#### 決議文

わたしたちは今日、反民生・反民主・反平和、屈従・屈辱外交、そして独断と専横、無能と無責任で一貫する尹錫悦政権の退陣を求めてこの場に結集した。

バイデン米政権は、インド太平洋地域におけるアジア版NATO構築のために、事実上の韓米日軍事同盟ともいえる韓米日軍事協力の強化に注力。尹政権は朝鮮に対する挑発発言を繰り返しながら、その先兵として前哨基地の役割を積極的に引き受け、対米屈従姿勢をあからさまにしている。三カ国軍事協力は海上合同演習に加えて、最近では核兵器搭載が可能な米戦略爆撃機を動員した空中合同訓練も実施され、朝鮮の強い反発を招きながら、朝鮮半島と周辺地域における戦争の危機を高めている。

尹政権は韓米日軍事協力のために韓日関係の「改善」を一挙に図った。強制動員被害者の意向を無視して第三者弁済方式による解決策を強行し、世論調査では国民の約80%が「反対・心配」しているにもかかわらず、日本の放射能汚染水海洋投棄に事実上賛成するなど、対日屈辱外交を続けている。

尹政権は自身に反対する勢力を親北・反米・反日の「反国家勢力」と一方的に規定、罵倒し弾圧を加えている。これは冷戦時代さながらの「理念対決」の構図をつくることで国民を分断し、まずは来年の総選挙で勝利を狙う策略である。だが、ソウル江西区長補欠選挙で「国

民の力」は大敗し、「政権審判」の民意は尹政権に打撃を与えている。

尹政権は財閥・大企業には減税と規制緩和の特恵を施す一方、高物価・高金利・高換率（為替レート）のもとで、効果的な経済政策が打ち出されないまま社会保障関連費が縮小されるなど、民生破たんを引き起こし、民衆を容赦なく苦しめている。

こうした中、「尹錫悦政権退陣運動本部」は三回にわたり汎国民大会を開催し、尹政権に対する民衆の天を衝く憤怒を共有。「生きられない かえよう！」との民意を集めて11月11日にソウルで「尹錫悦政権退陣総決起 退陣の広場を開こう！」を20万人規模で開催する。また10日まで「尹錫悦政権退陣大行進団」が全国を巡回中だ。

わたしたちもこの間、宣伝活動とプラカード・アピールを積極的に展開し、日本の地から11・11民衆総決起への支持を訴えた。朴槿恵政権の退陣を実現したキャンドル市民革命は民衆総決起が導火線となった。「11・11尹錫悦政権退陣総決起」を全的に支持し、尹政権退陣への大きなうねりをつくり出していこう。

こうした決意のもとに次のように決議する。

1. 反民生・反民主・反平和の尹錫悦政権は退陣しろ！
1. 「11・11尹錫悦政権退陣総決起」を全的に支持しよう！
1. わたしたちの力で自主・民主・統一を実現しよう！

2023年11月3日

11・11尹錫悦政権退陣総決起支持！ 韓統連全国代表者会議  
参加者一同

代表者会議は下記の韓国インターネットメディアに掲載されました

統一ニュース

<http://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=209349>

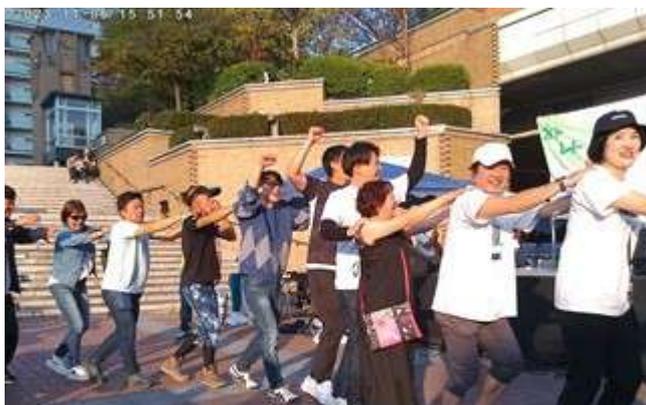
自主時報

<http://m.jajusibo.com/63684>

代表者会議の動画は韓統連公式YouTubeチャンネルから視聴できます

<https://youtu.be/BoWH054e4B8>

## ●「第14回ハナ・マダンあまがさき」開催…朝鮮半島統一への思いを共有



歌「統一列車」のリズムに乗って  
会場をねり歩く参加者たち

11月5日、兵庫県尼崎市の尼崎中央公園で「第14回ハナ・マダンあまがさき」が開催された。主催は韓統連兵庫本部、韓青兵庫県本部が中心となった同実行委員会。当日は熱いほどの晴天の中、3000名を超える在日同胞、地域住民が参加した。

ステージ公演ではオープニングで尼崎朝鮮初中級学校による吹奏楽演奏から開始し、在日韓国青年同盟兵庫県本部の漫才コンビ「かれこれ」や川口真由美さんの歌、

バンド演奏や歌の披露などが続いた。

秋龍（チュ・ヨン）実行委員長が主催者あいさつ。秋委員長は「現在、朝鮮半島情勢では心配なニュースが多いが、わたしたちは南北合意を支持し、朝鮮半島の統一にむけて前進していきたい」と語った。また、中野ひろまさ衆議院議員と迫田敬一尼崎市議会議員があいさつした。

会場企画としては統一問題を考える「ワ

ンコリアクイズ」や、地域のチョゴリ専門店等とコラボした特設スタジオでの「チョゴリ撮影会」、100名以上が行列を作った「統一ピビンバ」の試食などが行われた。

フィナーレで「ウリエソウオン（わたしたちの願いは統一）」を参加者全員で合唱。朝鮮半島の平和統一への思いを共有した。

### ■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の写真、動画などは韓統連インスタグラム、韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。



韓統連ホームページ



韓統連YouTubeチャンネル

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

[https://www.youtube.com/channel/UCg\\_8NZg52O1VTAMIGrXfqIQ](https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMIGrXfqIQ)

韓統連Instagram

[https://www.instagram.com/korea\\_htr/?hl=ja](https://www.instagram.com/korea_htr/?hl=ja)

## 第22代 韓国国会議員総選挙 在外投票案内



2024年4月10日に実施される第22代韓国国会議員総選挙に、在日同胞も投票できます。初めて投票する方は事前に選挙人登録が必要ですので、期限内に各地の韓国領事館で登録してください。

在外選挙人登録申請期間 2024年2月10日まで

投票期間 2024年3月27日～4月1日まで

手続きの詳細は在外選挙 中央選挙管理委員会ホームページでご確認ください

<https://www.nec.go.kr/site/abroadja/main.do#>

# 행사예정 行事予定

## 11月

### 情勢学習会(神奈川)

日時: 11月12日(日) 午後1時15分開場、1時30分開始 場所: ミューザ川崎 内容: 情勢講演(講師—李俊一(イ・チュニル) 総務部長) 参加費: 500円 主催: 韓統連神奈川本部 連絡先: 090-1049-4261 (ムン)

### 第27回伊丹マダン(兵庫)

日時: 11月19日(日) 午前10時~午後3時 場所: 三軒寺前広場 内容: ステージ(サムルノリ、朝鮮舞踊、中国獅子舞など)、パネル展示、チョゴリ試着、子どもコーナー 主催: 同実行委員会 連絡先: 090-6065-4857 (川上)

### 韓統連兵庫セミナー(兵庫)

日時: 11月26日(日) 午後2時30分開場、3時開始 場所: 尼崎市立中小企業センター 内容: 「高まる尹錫悦(ユン・ソンニョル) 政権退陣闘争~デモと選挙で社会を変える韓国民衆~」(講師—宋世一(ソン・セイル) 委員長) 参加費: 1000円 主催: 韓統連兵庫本部 連絡先: 090-5016-6352 (チェ)

### 韓統連広島セミナー2023(広島)

日時: 11月26日(日) 午後3時15分開場、3時30分開始 場所: 広島市まちづくり市民交流プラザ 内容: 「尹錫悦政権と朝鮮半島情勢」(講師—金昌五(キム・チャンオ) 韓統連大阪本部副代表委員) 主催: 韓統連広島本部 連絡先: 090-3372-0993 (ユン)

## 12月

### 第18回韓統連愛知セミナー(愛知)

日時: 12月10日(日) 午後1時30分開始 場所: 愛知民主会館 内容: 「今こそ進めよう、朝鮮半島平和の道標を」(講師—康宗憲(カン・ジョンホン) 韓国問題研究所代表) 参加費: 1000円(学生: 500円) 主催: 韓統連愛知本部 連絡先: 090-3930-8815 (キム)

**編集後記** いよいよ11日、韓国では「尹錫悦(ユン・ソンニョル) 政権 退陣総決起」が開催されます。思い返せば、朴槿恵(パク・クネ) 政権退陣のときも、民衆総決起が大きな契機となりました。注目していきましょう。※退陣総決起の様子は次号で報告します。(李)